

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

キノリンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

第 0 7 0 3 3 号

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：キノリン
- 2) 曝露方法：半止水式(週3回 全量換水)
- 3) 供試生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 試験水温： $20 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 5) 曝露期間：21日間
- 6) 試験水量：400ml
- 7) 連 数：1濃度区 4連
- 8) 生 物 数：40頭/1濃度区(1連につき10頭, 1濃度区40頭)
- 9) 照 明：16時間明/8時間暗
- 10) 試験濃度：対照区, 助剤対照区, 0.48, 1.0, 2.2, 4.8, 10及び22mg/L
- 11) 試験水中の被験物質の分析：高速液体クロマトグラフ法(開始時, 2日後の換水前, 7日後の換水後, 9日後の換水前, 14日後の換水後及び16日後の換水前)

結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの半数致死濃度
LC50 (21days) = 22mg/L以上
- 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度
ErC50 (21days) = 11mg/L (95%信頼区間: 9.8~12mg/L)
- 3) 最大無作用濃度 (NOECr) = 2.2mg/L
- 4) 対照区と有意差の認められる最低濃度 (LOECr) = 4.8mg/L
(上記濃度は、全て設定値に基づく値)